

第20回 白川・東白川地域公共交通活性化協議会 次第

日 時 令和3年12月20日（月）午前9時30分～
場 所 白川町役場分館3階 大会議室

1. 開会

2. 会長あいさつ 白川町長 細江 茂樹
副会長あいさつ 名古屋大学大学院教授 加藤 博和
(議事進行) 座長： 白川町副町長 佐伯 正貴

3. 報告事項

- (1) 「みんなで創り・守り・育てる白川町地域公共交通条例」の制定について 【参考資料】
(2) おでかけしらかわ・ひがししらかわの利用実績について 【資料 1】

4. 協議事項

- (1) おでかけしらかわ・ひがししらかわの見直しについて 【資料 2】
・運賃の見直し案について（令和4年4月1日改正案）
(2) 福祉有償運送の試験運行期間の延長について 【資料 3】
(3) 白川・東白川地域公共交通網形成計画の評価について 【別冊資料】

5. その他

- ・第21回 白川・東白川地域公共交通活性化協議会
令和4年3月1日（火）午後1時30分から 白川町町民会館

6. 閉会

<配付資料>

- 参考資料 みんなで創り・守り・育てる白川町地域公共交通条例の制定について
資料 1 おでかけしらかわ・ひがししらかわ利用実績について
資料 2 おでかけしらかわ・ひがししらかわの見直しについて
資料 3 福祉有償運送の実施状況について・福祉有償運送スケジュール案
別冊資料 白川・東白川地域公共交通網形成計画の評価について

白川・東白川地域公共交通活性化協議会委員名簿

(敬称略)

構成区分		役職等	氏名	備考
1	町村長	白川町長	細江 茂樹	新任
2		東白川村長	今井 俊郎	欠席
3	議会推薦	白川町議会議長	藤井 宏之	
4		東白川村議会議長	樋口 春市	
5	事業者	公益社団法人岐阜県バス協会専務	林 直樹	代理:岐阜県バス協会 事務局長 森淳三
6		濃飛乗合自動車株式会社 運輸事業部	有路 秀彦	
7		岐阜県交通運輸産業労働組合協議会	山下 光生	代理:濃飛乗合自動車労働組合 中島歩
8		大新東株式会社	佐藤 久仁	
9		東海旅客鉄道株式会社	渡邊 良成	代理:美濃太田駅駅長 松本征毅
10		医療法人白水会 白川病院	松本 茂	
11	住民代表	白川町	白川町自治協議会会長会長	藤井 保明
12			白川町商工会長	長尾 達美
13			白川町観光協会長	鈴村 雄二
14			白川町老人クラブ連合会長	細江 照男 欠席
15			白川町公共交通利用者代表	笹本 恵子
16			白川町中学校PTA役員	安江 厚 欠席
17			白川町校長会会長	中村 希志
18			白川町バス通学高校生保護者代表	今井 広数 欠席
19			白川町社会福祉協議会推薦 高齢者生活実態精通者	安江 知加子 欠席
20		東白川村	東白川村区会長	服田 順次
21			東白川村老人クラブ連合会代表	安江 力男 欠席
22			東白川村高校生保護者会代表	土井 宏治 欠席
23	国土交通省	中部運輸局岐阜運輸支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	
24		中部地方整備局岐阜国道事務所 管理第一課長	中村 澄之	
25	岐阜県	可茂土木事務所施設管理課長	堀場 一彦	
26		加茂警察署交通課長	藤田 康之	
27		都市公園整備局公共交通課長	前田 寛徳	代理:都市公園整備局公共交通課 主事 水野友裕
28	学識経験者	名古屋大学大学院環境学研究科教授	加藤 博和	
29	副町長	白川町副町長	佐伯 正貴	
30	副村長	東白川村副村長	桂川 憲生	
31	町村職員	白川町役場建設環境課長	藤井 充宏	
32		東白川村役場建設環境課長	安江 透雄	



地域公共交通の 「今」を知り「未来」に繋げる

自家用車への過度な依存の高まりにより、全国的に公共交通利用者は大幅に減少してきました。白川町でも人口減少や、新型コロナウイルスの影響により、路線の存続やサービス水準の維持など、公共交通の運行を継続することが難しくなり、町民にとって必要不可欠な移動手段である公共交通を失うことになりかねない恐れがあります。

必要不可欠な公共交通とは

公共交通は日常生活や社会生活を送るための基盤となるサービスであり、通勤や通学、通院や買い物というような生活に必要な不可欠な外出や、おでかけのための移動の足となります。また、多くの町民が自家用車で移動をしている白川町においても、車を運転できない子どもや運転免許証を返納した高齢者がひとりである安心しておでかけできる環境を維持するため、今後さらに公共交通は重要なライフラインとなっていくと見えます。

便利な公共交通がもたらすもの

公共交通がより便利で使いやすくなると、多くの利点があります。

- ・公共交通で町内の多くの場所へ行けるようになれば、人と人との交流ができるようになり、活発でにぎわいのある町になります。

- ・公共交通を利用する人が増え、自家用車が使用される機会が減れば、環境負荷が少なくなります。
- ・集落や地域の拠点を結ぶ地域公共交通ネットワークが充実すれば、コンパクトな町になります。
- ・公共交通を日常的に利用できれば、自家用車に過度に依存することのない町へと転換し、運転免許を持たない人も住みやすい町になります。

公共交通を未来に繋げるために

公共交通を未来に繋げていくためには、公共交通を地域全体の財産だと認識して、町民のひとりひとりが公共交通について理解をすることで、積極的に、そして継続的に公共交通に関わり、常に地域の公共交通が便利で使いやすいものであり続けるよう働きかけていく必要があります。

そのためには、行政・町民・地域の事業者・公共交通の運行事業者のそれぞれが役割や責務を自覚して、地域一体となって公共交通の取り組みを行っていくかなければならないのです。

◆ポイント◆

まずは白川町の公共交通に興味を持って、「おでかけしらかわ」を利用してみましょう

白川町 路線バス運行の歴史

- T13 岐阜自動車(株)が下麻生駅から神土まで1日2往復の定期バスを運行開始
- T14 黒川自動車が白川口駅から中之平まで1日3往復の定期バスを運行開始
- T15 白川自動車協会が白川口駅から加子母村まで定期バスを運行開始
(白川口駅から加子母村までを2往復 白川口駅から神土までを4往復)
- S3 恵那バスが恵那郡大井町から三川友渕まで定期バスを運行開始
- S3 恵那バスの運行していた定期バスが白川口駅まで路線を延長
- S7 蘇原自動車協会が恵那バスから営業権を引き継ぐ
- S18 白川・黒川・蘇原の定期バスが**濃飛バス**に合併
濃飛自動車(株)白川口営業所が白川口駅前に設置される ※本社は飛騨高山
白川口営業所所属の路線バスは次々と拡張され、さらには観光バスの運行も兼業された
昭和41年には27台13路線に及ぶ規模で定期バスが運行した
- S40年代～ 自動車が普及し人々が自動車を所有し始めたモータリゼーションや、
農村部における人口の過疎化が影響し、**定期バスの利用者が減少**する
バス会社の経営も赤字が続き、路線の縮小を始める
- S44.4 白川町が地方バス路線維持のため、公費補助を始める
- S47.4 車両購入のための補助金の交付や車掌確保のための支援を始める
- S58.8 白川高校へのバスの乗り入れが始まる
- S60.5 佐見線が廃止路線となる
- S62.2 蘇原線・黒川線が廃止路線となる
- S63.4 加子母線(東白川線)が廃止路線となる
加子母線、蘇原線、黒川線、佐見線の4路線が、白川町の**自主運行バス**として運行される
「乗って残そう濃飛バス」を合言葉に、乗車運動を行う
どこでも乗り降りできる「フリーバス方式」を取り入れ、サービスの向上を図る
- H6.6 「バス対策協議会」を設置し、町内路線バスの円滑な推進を図る
- H19.4 高校生通学支援バス(美濃加茂行き)を運行開始
- H28.4 路線バスの運行見直しが行われ、各路線が大幅に減便される
減便された路線バスに代わり高校生の通学の足を担うため、**通学支援バス(無償)**が運行開始
- H28.6 「白川・東白川 地域公共交通活性化協議会」を設置
- H28.9 白川北地区で公共交通地域部会が設立(以降、他4地区で公共交通地域部会が設立する)
- H28.12 白川北地区で地域が主体となり、公共交通の実証運行が始まる
(以降、他4地区で実証運行が始まる)
- H30.8 白川・東白川地域公共交通網形成計画を策定
- H30.10 新しい公共交通体制「**おでかけ しらかわ ひがししらかわ**」運行開始
- H31.2 利用促進シンポジウムを開催
- R3.5 大賀医院が運行する無料送迎バスが白川町営バスに統合
- R3.8 福祉車両を利用した送迎サービス**福祉有償運送**の試験運行が始まる
- R3.10 白川病院が運行する無料送迎バスが白川町営バスに統合
『**みんなで創り・守り・育てる 白川町地域公共交通条例**』を制定



みんなで創り・守り・育てる 白川町地域公共交通条例

地域公共交通は、この町で暮らし続けるために必要不可欠な移動手段であり、持続可能なまちづくりを進めるために欠かすことのできない重要なライフラインのひとつです。

広大な面積を有する白川町では、自家用車への依存度がとても高く、今後さらに人口減少や少子高齢化が進展する中で、移動手段を持たない高齢者の増加が予想されるため、地域公共交通の役割を再認識し、積極的な利用促進を図る必要があります。

町外の高校へ通う高校生や運転免許を返納した高齢者などの交通弱者をはじめとする白川町民が、みんなで地域公共交通を積極的に利用し、「誰もがいつでも気軽に利用できる環境づくり」を進めていくことで、豊かで活力に満ちた白川町を実現するため、「みんなで創り・守り・育てる白川町地域公共交通条例」を制定しました。

基本理念

地域公共交通の機能が将来にわたって十分に発揮されるよう、地域の特性に応じた地域公共交通のネットワークの構築、良質な運送サービスの提供の確保等を行うことにより、一体となって、本町の地域公共交通を創り、守り、育てるものとします。

～公共交通に関する基本的施策～

- (1) 町民にとってわかりやすく利用しやすい効率的な地域公共交通網の構築
- (2) 町民や事業者の参画を促すため、持続可能な地域公共交通の環境整備
- (3) 自動車を運転できない町民が、地域内で日常生活を送るために必要な移動手段の確保
- (4) 高齢化に伴う運転免許の返納とあわせて地域公共交通を積極的に利用することについての教育及び啓発

地域公共交通を未来につなぐためのみんなの役割

- ◆おでかけしらかわの担い手であることを自覚して、地域公共交通への理解を深めるよう努める。
- ◆自家用車に依存しすぎることがないように、おでかけしらかわを積極的に利用するよう努める。
- ◆おでかけしらかわに関する活動に主体的に参加し、地域公共交通施策の推進に協力する。



町民の役割

- ◆町民や事業者、運行事業者の意見を聞きながら、地域公共交通に関する基本的施策を、総合的・計画的に策定して実施する。
- ◆おでかけしらかわが積極的に利用されるよう、情報提供や様々な活動を行うことによって、町民の地域公共交通への意識を高める。



行政の責務

白川町の公共交通を みんなで創り守り育てよう



運行事業者の役割

- ◆おでかけしらかわの利用状況を把握し、町民の声や意見を運営に反映するよう努める。
- ◆地域公共交通の社会的な役割を認識し、おでかけしらかわの利便性を向上させるよう努める。
- ◆積極的に情報提供して利用促進に努める。
- ◆安全・安心な運行の確保に努める。

地域事業者の役割

- ◆従業員へおでかけしらかわの利用を促し、地域公共交通への意識を啓発する。
- ◆事業活動などの際は必要に応じて、おでかけしらかわを利用するよう配慮する。
- ◆地域公共交通施策の推進に協力する。





白川町公共交通 おでかけしらかわをご紹介します



JR接続便

白川北、蘇原、黒川、佐見地区と駅を結ぶ運行

※白川地区へは同時刻に運行する濃飛バスが利用可能

☆ 特徴 ☆

- ・ JR白川口駅・下油井駅の列車に合わせて、朝(行き) 1本と夕方以降(帰り) 3本を運行します
- ・ 予約が必要、高校生はアプリで予約できます
- ・ スクールバスやワゴン車で運行しています

予約制バス

- 【白川地区】 みどり
- 【白川北地区】 ニコバス
- 【蘇原地区】 そはらGO
- 【黒川地区】 黒川ハッピー
- 【佐見地区】 佐見いこカー

☆ 特徴 ☆

- ・ 予約が必要ですが、空きがあればすぐに利用できます
- ・ 自宅からバス停やその他ご希望の目的地まで、ワゴン車が直接運行します

濃飛バス

【白川中央線】

下油井駅～白川病院～白川口駅～マツオカ白川店(～奥新田)

【白川東白川線】

白川病院～白川口駅～東白川診療所～越原消防センター

☆ 特徴 ☆

- ・ 予約は不要、定時定路線で運行しています
- ・ 通院に利用しやすいダイヤに運行を見直しました
- ・ この秋、15年ぶりに新車両が導入されました

サポート便

公共交通機関を利用することが困難な方のため、福祉車両を使用して送迎するサービス

町内だけでなく、白川町外の医療機関や福祉施設などへの送迎も可能です

※ご利用は白川町社会福祉協議会または、サンシャイン福祉振興会へご相談ください。

詳しくはホームページをご覧くださいか、お電話にてご相談ください

白川町コミュニティバスセンター

☎ 0574-74-1001



通学・通勤に

朝7時台、夕方以降19時台までのJRに合わせて、濃飛バス「白川東白川線」とJR接続便が運行していますので、白川・東白川の全ての地域から通学や通勤に利用できます。



通院に

通院にも「おでかけしらかわ」を利用しましょう。白川病院や大賀医院を利用するとおでかけしらかわの運賃は無料になります。通院の帰りにお買い物をすることもできますよ。



おでかけに

「おでかけしらかわ」は、お買い物などのちょっとしたおでかけにも便利です。予約制バスと濃飛バスをうまく活用しましょう。濃飛バスはどの便も白川口駅を経由するので、JRでのおでかけにも利用できます。

おでかけしらかわ利用者の声を聞いてみました。

松岡さん（鱒淵）

おでかけしらかわは、週2回の白川病院への通院と、週1回マツオカへの買い物、月に1度は岐阜の病院へ通うためにも利用しています。バスセンターに電話をすれば、たいいてい何とかしてもらえるので、とても助かっています。

藤井さん（柿反上）

足が痛くてバス停まで歩くのがつらかったけど、予約をしておけば家からバス停まで送ってもらえるので助かっています。白川病院からの帰りにお買い物ができるようになったのもありがたいです。



黒川から白川病院までバスで通院する松岡さん（鱒淵）と藤井さん（柿反上）

2021年度 おでかけしらかわ・ひがししらかわ 利用実績（2021年10月～11月）

資料 1

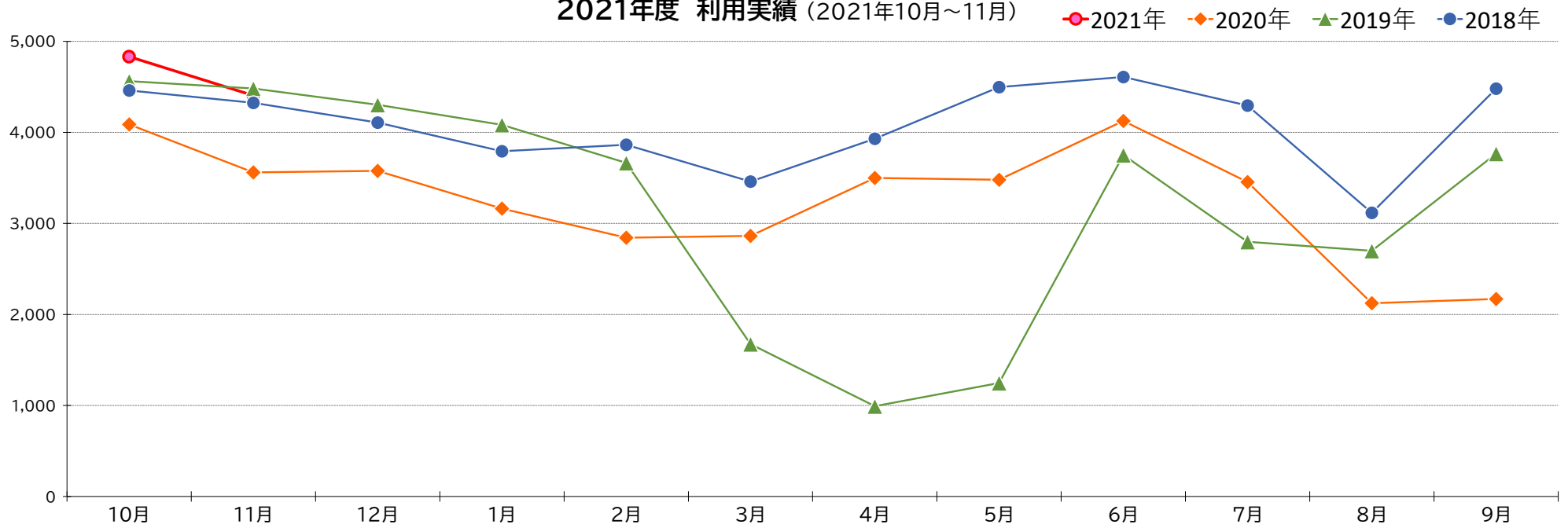
【2018年 比較表】

	濃飛バス						JR接続便(町自家用有償)				予約制バス(町自家用有償)				合 計			
	2021年			2018年	増減	増減率	2021年	2018年	増減	増減率	2021年	2018年	増減	増減率	2021年	2018年	増減	増減率
	東白川	中央	計															
10月	1,080	382	1,462	1,448	↑14	↑1%	1,959	1,929	↑30	↑2%	1,411	1,083	↑328	↑30%	4,832	4,460	↑372	↑8%
11月	970	432	1,402	1,501	↓99	↓7%	1,798	1,756	↑42	↑2%	1,205	1,068	↑137	↑13%	4,405	4,325	↑80	↑2%
12月				(1,455)				(1,567)				(1,086)				(4,108)		
1月				(1,330)				(1,647)				(816)				(3,793)		
2月				(1,468)				(1,316)				(1,080)				(3,864)		
3月				(1,523)				(908)				(1,028)				(3,459)		
4月				(1,661)				(1,530)				(740)				(3,931)		
5月				(1,861)				(1,838)				(799)				(4,498)		
6月				(1,932)				(1,799)				(878)				(4,609)		
7月				(1,834)				(1,535)				(926)				(4,295)		
8月				(1,474)				(934)				(708)				(3,116)		
9月				(1,885)				(1,672)				(923)				(4,480)		
合計	2,050	814	2,864	2,949 (19,372)	↓85	↓3%	3,757	3,685 (18,431)	↑72	↑2%	2,616	2,151 (11,135)	↑465	↑22%	9,237	8,785 (48,938)	↑452	↑5%

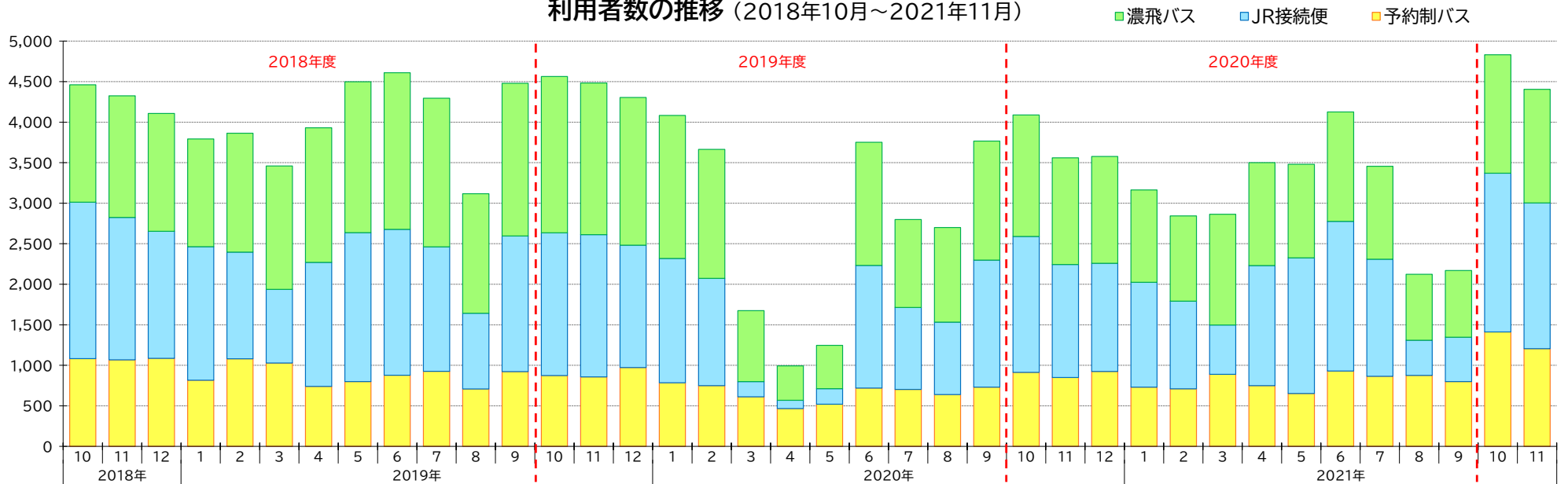
【2020年 比較表】

	濃飛バス						JR接続便(町自家用有償)				予約制バス(町自家用有償)				合 計			
	2021年			2020年	増減	増減率	2021年	2020年	増減	増減率	2021年	2020年	増減	増減率	2021年	2020年	増減	増減率
	東白川	中央	計															
10月	1,080	382	1,462	1,498	↓36	↓2%	1,959	1,678	↑281	↑17%	1,411	912	↑499	↑55%	4,832	4,088	↑744	↑18%
11月	970	432	1,402	1,316	↑86	↑7%	1,798	1,394	↑404	↑29%	1,205	850	↑355	↑42%	4,405	3,560	↑845	↑24%
12月				(1,319)				(1,334)				(924)				(3,577)		
1月				(1,139)				(1,294)				(730)				(3,163)		
2月				(1,051)				(1,082)				(710)				(2,843)		
3月				(1,365)				(610)				(888)				(2,863)		
4月				(1,270)				(1,481)				(749)				(3,500)		
5月				(1,154)				(1,673)				(652)				(3,479)		
6月				(1,349)				(1,847)				(930)				(4,126)		
7月				(1,146)				(1,444)				(865)				(3,455)		
8月				(813)				(434)				(876)				(2,123)		
9月				(823)				(548)				(799)				(2,170)		
合計	2,050	814	2,864	2,814 (14,243)	↑50	↑2%	3,757	3,072 (14,819)	↑685	↑22%	2,616	1,762 (9,885)	↑854	↑48%	9,237	7,648 (38,947)	↑1,589	↑21%

2021年度 利用実績 (2021年10月～11月)



利用者数の推移 (2018年10月～2021年11月)

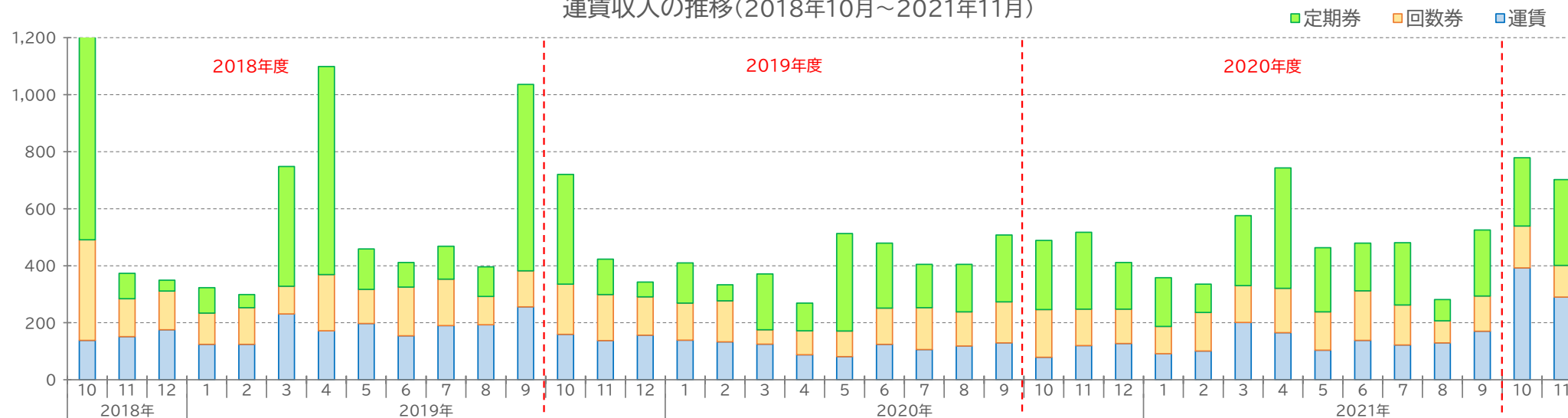


おでかけしらかわ・ひがししらかわ運賃収入実績（2018年10月～2021年11月）

単位:千円

	2018年度				2019年度					2020年度					2021年度				
	運賃	回数券	定期券	合計	運賃	回数券	定期券	合計	前年比	運賃	回数券	定期券	合計	前年比	運賃	回数券	定期券	合計	前年比
10月	138	353	1,166	1,657	159	176	385	720	↓937	79	167	243	489	↓231	392	147	240	779	↑290
11月	151	133	89	373	137	162	124	423	↑50	120	128	269	517	↑94	290	111	301	702	↑185
12月	175	136	38	349	156	135	52	343	↓6	127	121	163	411	↑68					
1月	124	110	89	323	139	130	141	410	↑87	91	96	171	358	↓52	過去3年平均との同時期比 +421千円(+161%)				
2月	124	129	46	299	133	144	56	333	↑34	101	135	99	335	↑2					
3月	231	97	420	748	125	50	196	371	↓377	201	129	246	576	↑205					
4月	172	197	730	1,099	88	84	97	269	↓830	165	156	422	743	↑474					
5月	197	120	142	459	81	90	342	513	↑54	104	134	225	463	↓50					
6月	154	171	86	411	124	127	228	479	↑68	138	174	167	479	↑0					
7月	190	163	115	468	106	147	152	405	↓63	122	140	219	481	↑76					
8月	193	99	104	396	118	120	167	405	↑9	129	78	74	281	↓124					
9月	256	126	654	1,036	129	144	235	508	↓528	170	124	231	525	↑17					
合計	2,105	1,834	3,679	7,618	1,495	1,509	2,175	5,179	↓2,439	1,547	1,582	2,529	5,658	↑479	682	258	541	1,481	↑475

運賃収入の推移(2018年10月～2021年11月)



白川病院バス利用実績（令和 3 年 1 1 月末）

（単位：人、枚）

月／路線	黒川	三川	切井	赤河	天神	和泉	宇津尾 広野	佐見	坂ノ東	七宗	東白川	金山	和良	病院バス 合計①	利用券 合計②	総計 ①＋②	増減	
9月	89	5	24	4	22	8	32	53	16	8	81	49	13	404	—	404		
10月	町 営 バ ス へ 統 合	8	21	1	2	3	町 営 バ ス へ 統 合	49	3	10	63	59	3	222	250	472		
														対先月（2021.9）		404	68	
														対前年（2020.10）		404	68	
														対前々年（2019.10）		588	△ 116	
11月		7	23	4	1	1		38	3	7	68	48	8	208	258	466		
														対先月（2021.10）		472	△ 6	
														対前年（2020.11）		328	138	
														対前々年（2019.11）		540	△ 74	
計		15	44	5	3	4		87	6	17	131			430	508	938		
														対前年（2020）		732	206	
													対前々年（2019）		1,128	△ 190		
	↓						↓				↓			↓	↓	↓		
	完全移行						完全移行				個別送迎			病院運行	公共交通	統合後計		

- ・ 病院バス利用者数は、往路のみの利用者数、利用券は公共交通利用券の発行枚数
- ・ 病院バスの黒川線と宇津尾・広野線は、10月から町営バスへ統合（完全移行）
- ・ 病院バス東白川線は、東白川村の西洞、中谷、大明神の利用者（バス停から距離のある個別送迎対応）

おでかけしらかわ・ひがししらかわの見直しについて（案）

町村営バス 運賃表（案）

○基本運賃

区 分		種 類	金 額	備 考
予約制バス	地区内	Ⅰ 乗車	200円	地区内及び最寄りの乗り継ぎ場所までの利用
	地区外		300円	地区をまたぐ利用
	区域外		400円	下呂市金山町内への利用
J R 接続便			200円	各地区と白川口駅または下油井駅間を定時運行
白川中央線			100円	下油井駅～マツオカ白川店・林道口・ ゲンキー加茂白川店 間とマツオカ白川店・林道口～奥新田間は100円 上記区間をまたいで利用する場合は200円
白川東白川線			200円	白川中央線との重複区間は100円とする （白川口駅から白川町役場前まで）

○未就学児は無料、小中学生は半額

○障がい者（知的、精神、身体）及び第Ⅰ種障がい者等の介護者は半額

■下油井駅 ～ ゲンキー加茂白川店 100円

■奥新田 ～ 林道口・マツオカ白川店 100円

■林道口・マツオカ白川店 ～ ゲンキー加茂白川店 100円

上記の区分のいずれかをまたいで利用する場合 200円

改正日 令和4年4月1日

おでかけしらかわひがししらかわ 地区別運賃設定

1. 現在の運賃体系

○基本運賃

区 分		種 類	金 額	備 考
予約制バス	地区内	1乗車	200円	地区内及び最寄りの乗り継ぎ場所までの利用
	地区外		300円	地区をまたぐ利用
	区域外		400円	下呂市金山町内への利用
JR接続便			200円	各地区と白川口駅または下油井駅間を定時運行

○乗車券

区 分	種 類	金 額	予約制バスの利用可能範囲
1日乗車券	地区内	400円	地区内及び最寄りの乗り継ぎ場所まで
	地区外	600円	白川町内
	区域外	800円	下呂市金山町まで

※1日乗車券購入者は予約制バス、JR接続便、濃飛バス各路線の全て何度でも利用可能。

2. 地区別運行内容と運賃

予約制バス 地区内

運賃	1日券	地区	運行エリア		
200円	400円	白川	白川・白川北地区内	マツオカ白川店	
		蘇原	蘇原地区内		
		黒川	黒川地区内	マツオカ白川店	つちのこ館
		佐見	佐見地区内	下油井駅	

予約制バス 地区外(平日)

運賃	1日券	地区	運行の有無	運行範囲	濃飛バスとの接続
300円	600円	白川	あり	白川町内	あり
		蘇原	なし	－	あり
		黒川	なし	－	あり
		佐見	あり	金山町(4カ所)	あり

予約制バス 地区外(土日祝)

運賃	1日券	地区	運行の有無	運行範囲	濃飛バスとの接続
300円	600円	白川	あり	白川町内	あり(重複あり)
		蘇原	あり	白川町内	なし
		黒川	あり	白川町内	なし
		佐見	あり	金山町(4カ所)	なし

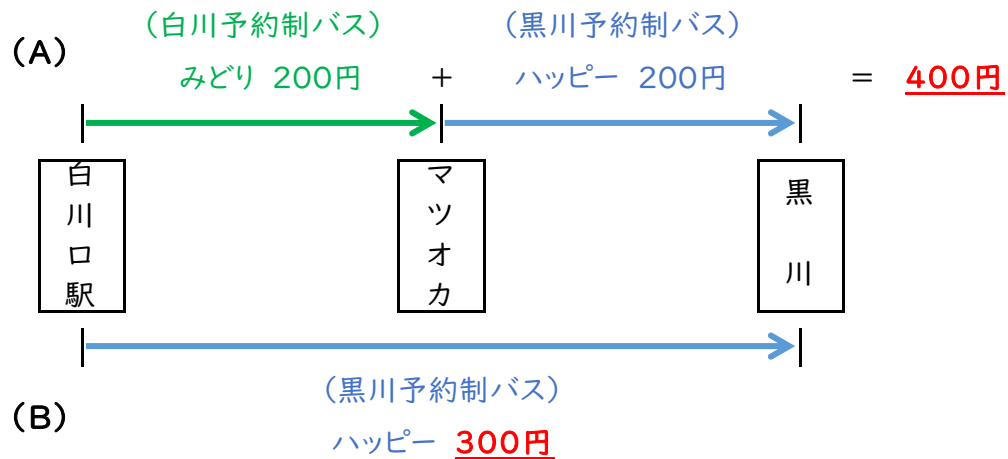
その他便

運賃	1日券	地区	運行内容
200円	400円	黒川	8:20柿反 ⇒ 8:45ゲンキー ⇒ 8:55大賀医院

3. 課題(問題点)

※同じ利用内容でも時間帯や運行状況によって運賃に差が生じている

<土曜日に白川口駅から黒川へ向かう場合の例>



4. 見直しの方向性

○予約制バスの運行内容見直し(統一)

- ・平日、休日ともに乗り継ぎ地点までの運行とする。(地区内運行のみとする。)
- ・地区をまたぐ形の利用は、乗り継ぎ地点で行き先の地区の車両に乗り継ぐこととする。

※各地区の運行内容を統一することで、現在生じている運賃の差を解消する。

※10月以降、通院利用(それに伴う α)により運行回数が増加しており各車両の運行状況に余裕がない。

5. 見直し後の運賃体系案

○1乗車200円の統一運賃とする

区分	運賃	1日乗車券	備考
地区内	200円	400円	各地区内と乗り継ぎ場所までの利用
地区外(町外)	300円	600円	下呂市金山町まで
町外	—	—	—

- ・往復や複数回利用する場合は、1日乗車券を購入することで乗り放題になる。
- ・佐見地区が運行している町外(金山町)は、運賃を300円(1日乗車券600円)に見直す。

白川町福祉有償運送実施状況について

■白川町社会福祉協議会

	通 院		福祉施設		買物	その他	帰宅	合計	運賃収入
	町内	町外	町内	町外					
8月	2人						2人	4人	2,000円
9月	3人						3人	6人	3,000円
10月	2人						2人	4人	2,000円
11月	1人						1人	2人	1,000円
計	8人	0人	0人	0人	0人	0人	8人	16人	8,000円

■サンシャイン福祉振興会

	通 院		福祉施設		買物	その他	帰宅	合計	運賃収入
	町内	町外	町内	町外					
8月	2人					1人	2人	5人	2,300円
9月	3人					1人	3人	7人	3,300円
10月	3人			1人		1人	3人	8人	5,300円
11月	2人					1人	2人	5人	2,300円
計	10人	0人	0人	1人	0人	4人	10人	25人	13,200円

～運行主体の意見～

- ・関市中濃厚生病院への通院、入退院の移動に困っている方もいる。運送区域に追加できないか。
- ・白内障の手術は町内では受けることができない。手術可能な村瀬眼科のある下呂市萩原を運送区域に追加できないか。
- ・町外福祉施設への「通所」での利用希望があったが「入所」、「退所」ではないため利用を断ったケースがある。
- ・公共交通（おでかけしらかわ）での町内医療機関への通院は利用者の運賃負担はない（医療機関が運賃を負担）が福祉有償運送は本人に負担してもらっている。

～利用者の意見～

- ・以前は通院するのに息子に仕事を休んで連れて行ってもらっていた。利用させてもらえるようになってありがたい。運賃も安いと思う。

福祉有償運送実施スケジュール（案）

項目	R2年度（2020）		R3年度（2021）											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体の流れ	実態・ニーズ調査		運営規程の策定 運営体制、運行管理体制の整備			周知期間 個別案内	試験運行（8月～3月 9カ月間）							※2022.1月末→ 3月末までに延長
打合せ会議 （実施主体・町）	● 2/12 第2回打合せ会議（スケジュール作成、ニーズ調査方法）		● 4/8 第3回打合せ会議（ニーズの確認、運営規程の検討） ● 4/22 第4回打合せ会議（運営規程の策定、運営体制等の検討）			● 5/24 下呂市社会福祉協議会視察 ● 6/4 第5回打合せ会議（運営体制の確認、登録申請書類作成） ● 6/23 第6回打合せ会議（運営体制の確認、実施に向けた準備） ● 7/6 第7回打合せ会議（運行開始に向けた準備・周知）	● 打合せ会議（実施状況の確認、本格化に向け検討） ・利用対象者、運賃、行先、複数乗車 等々							
地域公共交通 活性化協議会	● 2/24 第17回活性化協議会 （方向性、時期等について説明）				● 6/30 第18回活性化協議会 （実施に向けた協議）	★ 7/26 中濃地域福祉有償運送運営協議会	● 8/31 第19回活性化協議会 （10月路線バス延長、病院バス統合）				● 12/20 第20回活性化協議会 （試験運行の検証、本格化の検討）		● 第21回活性化協議会 （事業計画、予算 他）	
岐阜運輸支局 登録手続き		4/27事前相談 ●		●	6/7申請書事前確認	● ◎ 登録証交付 7/1登録申請書提出			支局事前相談 ●	●	◎ 登録証交付 変更申請書提出			
法人定款変更 サンシャイン					● 評議員会(変更協議)、変更許可申請書提出 ◎ 定款変更許可、登記変更手続き									
町・議会			● 議会報告			● 議会報告					● 町補助要綱作成	● 議会報告 ● 町補助交付決定		
その他	● 運転者講習（5名受講）			● 運転者講習（7名受講）		● 7/14-16 運行管理者基礎講習（2名受講） ● 7/26 運行管理実務研修（町バスセンター）								